

【基本施策1】子どもがスポーツに親しむ機会の充実

		所属名	スポーツ振興課			
事業No.	事業名					
1	【重点事業】子どもを対象としたスポーツ事業の実施					
事業概要	①各体育館等において、子どもや親子が参加できるスポーツ事業(一般公開、教室・講習会、交流機会など)を開催する。 ②「子どもサポートプラン」を実施し、区立プールを中学生以下の子どもに対して無料で開放をする。					
計画目標	拡充	目標に対する評価	C:計画目標を一部達成した	コロナ影響	有	
令和3年度実績	①各体育館等 駒場体育館 16,528人、区民センター体育館 38,865人、碑文谷体育館 10,164人、中央体育館 9,368人 八雲体育館 0人、宮前公園庭球場 181人、砧野球場・サッカー場 1,241名、五本木小学校屋内プール 7,962人、碑小学校屋内プール 10,875人、緑ヶ丘小学校屋内プール 11,538人 ②子どもサポートプラン 駒場体育館 0人(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、区民センター体育館 0人(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、五本木小学校屋内プール 0人(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、碑小学校屋内プール 0人(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、緑ヶ丘小学校屋内プール 0人(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)					
評価の理由	・新型コロナウイルス感染症の影響により、屋内及び屋外施設ともに利用休止となる期間が発生したため、予定していた一般公開、教室・講習会等が一部中止となった。しかし、利用再開後は、実施可能な事業については、参加人数を縮小する等感染防止対策を講じながら、可能な限り親子及び子どもが参加できる事業を実施した。 ・感染防止対策として利用人数を制限する中、利用希望者の増加につながる「子どもサポートプラン」については引き続き中止とした。					
課題など	コロナ禍においても区民が安心・安全かつ楽しめるスポーツ事業となるよう、感染防止対策や事業内容について、引き続き関係団体と連携しながら検討を重ねていく必要がある。					

		所属名	スポーツ振興課			
事業No.	事業名					
2	スポーツ観戦事業の実施					
事業概要	スポーツの感動や応援するきっかけとなるよう、トップアスリートの競技を観戦する。					
計画目標	新規	目標に対する評価	D:計画目標を達成していない	コロナ影響	有	
令和3年度実績	トップアスリート競技観戦事業観戦種目及び参加者数 0人(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)					
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。					
課題など	コロナ禍においても区民が安心・安全且つ楽しめるスポーツ事業となるよう、関係団体と連携し感染症対策や事業内容について常時検討を重ねていく。					

		所属名	子育て支援課・児童館			
事業No.	事業名					
3	ティーンズフェスタインめぐろ					
事業概要	中高生の視点で文化的イベント・スポーツ的イベント等の企画、大人たちと世代を超えた交流を図り、中高生の社会参加と地域の活性化を図る。					
計画目標	継続	目標に対する評価	C:計画目標を一部達成した	コロナ影響	有	
令和3年度実績	新型コロナウイルス感染症のため、事業を中止とした。					
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の中で、従来の形でのティーンズフェスタは実施できなかったが、各児童館において、近隣中学校、高等学校と連携した事業を実施し、中高生の活躍の場を作った。また、開催予定だった区民センター体育館を使用し、4か所の児童館が集まり、バドミントンによる中高生の交流を行った。					
課題など	<ul style="list-style-type: none"> ・集合型イベントではない事業形態の早期検討や新たなティーンズフェスタの仕組みを検討していく必要がある。 ・引き続き、各児童館において、中学校、高等学校と連携した事業について検討をしていく。 ・青少年を取り巻く関係所管と連携し中高生事業の活性化や中高生を取り巻く諸課題に的確に対応していく。 					

		所属名	学校運営課			
事業No.	事業名					
4	めぐろ元気あっぷ教室の実施					
事業概要	肥満や体力不足など健康に課題のある児童を対象とした運動教室をめぐろ学校サポートセンター・区内小学校等で年間3期に分けて実施する。学校において児童観察している学校健康トレーナーが主体となって、児童に合わせた運動プログラムや生活プログラムを提供する。					
計画目標	継続	目標に対する評価	B:計画目標を達成した	コロナ影響	有	
令和3年度実績	<ul style="list-style-type: none"> めぐろ元気あっぷ教室 会場:八雲小学校、碑小学校、中目黒小学校、五本木小学校、鷹番小学校、原町小学校、上目黒小学校 参加者:前期 延べ647人、後期 延べ907人 実施数:11コース各10回 夏季水中運動教室 期間:4日間 参加者:延べ122人 					
評価の理由	<p>これまで年間3期で実施してきたが、令和3年度から前期、後期の2期で実施することとした。新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、個々の児童に合わせた運動プログラムを提供できた。また、8月に夏季水中運動教室を実施した。めぐろ元気あっぷ教室、夏季水中運動教室の実施により、児童の健康課題改善に向けて取り組むことができた。</p>					
課題など	児童・保護者からの意見や要望等を踏まえながらの実施内容の充実					

		所属名	教育指導課	
事業No.	事業名			
5	東京駅伝開催に係る支援			
事業概要	東京都教育委員会主催の中学生「東京駅伝」大会に、目黒区の中学生を代表して出場し他区市の生徒と競い合うことで、生徒の競争力及び体力の向上を図りつつ、スポーツそのものや自らの体力について考える機会を設ける。			
計画目標	継続	目標に対する評価		コロナ影響
令和3年度実績	令和2年度で事業終了予定だったため、令和元年度の東京駅伝への支援をもって本事業は終了となった。			
評価の理由				
課題など				

		所属名	教育指導課			
事業No.	事業名					
6	学校における体育活動の充実 ①めぐろ子どもスポーツ健康手帳等の作成・配付 ②体カテストの実施					
事業概要	①子どもを取り巻く社会・家庭環境の変化に伴う基本的な生活習慣の変化を意識しつつ、健康教育を進めていくことが求められる中、子ども自身が自分の健康状態や体力を認識し、目標をもった取り組みに資する教材・資料を提供する。 ②体育の時間や体育的行事を通じ、生涯にわたり運動に親しむ態度を育てるとともに、体カテストにより子どもの体力や運動能力の課題を明らかにし、指導方法の改善に努める。					
計画目標	継続	目標に対する評価	A:計画目標を上回って達成した	コロナ影響	無	
令和3年度実績	① ・令和2年度、体力向上推進委員会において作成した「めぐろ ここカラダシート」を改訂して全校・園で実施した。 ・体力向上推進委員会(年3回)を開催し、「めぐろ ここカラダシート」の活用状況等を確認し、令和4年度に向けて改訂を行った。また、一部デジタル化や1月付録を作成した。 ② ・令和3年度全校体カテストを実施し、子どもが楽しく継続的に取り組むための指導方法の改善を図った。					
評価の理由	令和3年度体力向上推進委員会において、各学校・園における「めぐろ ここカラダシート」の活用状況を確認し、改訂作業を行った。 学習用情報端末で自身の体力向上を経年比較できるよう、東京都統一体カテストの結果を記録できるスプレッドシートを作成した。					
課題など	令和4年度は、令和3年度に改定した「めぐろ ここカラダシート」や東京都統一体カテストの結果を記録できるスプレッドシートの成果等を検証する必要がある。					

		所属名	学校運営課			
事業No.	事業名					
7	運動部の部活動(小学校の特設クラブを含む。)における外部指導員等に係る支援の実施					
事業概要	児童・生徒が自らの適性や興味・関心を伸ばし、体力の向上やスポーツを愛好する心を育む機会となる部活動の一層の活性化のため、教育の指導を補完する外部指導員等の確保と有効活用による質の高い指導の充実を図るとともに、大会参加等の公費負担による支援を行う。					
計画目標	継続	目標に対する評価	C:計画目標を一部達成した	コロナ影響	有	
令和3年度実績	部活動数(運動部のみ):小学校 2校2部、中学校9校69部					
評価の理由	部活動指導員等、外部指導者の配置を希望する学校に対して、配置することができた。一方、外部指導者の質の向上を図ることを目的に年2回の全体研修を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、研修講師及び研修方法の調整が難航し、秋季のみの実施となった。					
課題など	外部指導者の活用の推進に当たっては、部活動の地域移行を考慮しつつ、学校、関係部署と連携の上、部活動が後退することがないように対応する必要があることから、外部指導者を対象とした研修についても、多様化するニーズをいかに把握し、資質向上に向けた満足度の高い研修機会を設けていくことが課題となっている。					